



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社富士山マガジンサービス
 コード番号 3138 URL <http://www.fujisan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西野伸一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理グループ長 (氏名) 佐藤鉄平
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 未定
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03 - 5459 - 7076

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	3,794	18.6	242	32.1	244	29.0	166	65.0
2019年12月期第3四半期	3,198	30.2	183	17.2	189	20.3	100	6.4

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 169百万円 (66.2%) 2019年12月期第3四半期 102百万円 (5.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	53.16	48.68
2019年12月期第3四半期	32.50	30.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	4,778	1,467	29.9
2019年12月期	4,366	1,328	29.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 1,429百万円 2019年12月期 1,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		0.00	0.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,995	12.7	271	17.3	271	18.6	172	0.2	54.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 103R株式会社、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	3,315,620 株	2019年12月期	3,315,620 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	218,079 株	2019年12月期	171,600 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	3,123,100 株	2019年12月期3Q	3,095,808 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、いまだ沈静化しない新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延の影響を被り、個人の消費は急速に冷え込みつつあります。収束の目途が見えない新型コロナウイルス感染症の蔓延、米中間の関係悪化に伴う不安定な国際情勢の影響等により世界経済の悪化がほぼ確実視される中、我が国の景気についても大幅な悪化が避けられない情勢となっております。

このような経済情勢の中、当社サービスの基盤となる、インターネット及びブロードバンド関連の環境につきましては、着実に増加しており、2020年6月末時点で固定系ブロードバンド契約数が約4,157万（前年同期比2.6%増）とインターネットを利用する機会が広く普及しております。また、スマートフォンやタブレット端末の利用者の増加により移動系超高速ブロードバンド契約数は約1億8,846万（前年同期比3.5%増）となるなど、新型コロナウイルス感染症による外出自粛による巣ごもり需要もあり、インターネットを利用する環境は引き続き継続的な拡大基調にあります（出所：総務省電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表資料）。

一方、2020年9月期の雑誌の販売状況は前期に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による、編集過程でのイベントの休止による取材・撮影の中止に伴う刊行の延期の影響があるものの、コミックスの好調を受け前年同期比で約0.8%増となっております。書店からの返品率は37.5%となり（前年同期比2.8ポイント減）、返品率についてもコミックスを中心に改善しております。（出所：出版月報2020年10月号）。

このような環境の中、当社グループは、当第3四半期連結累計期間においても、雑誌の定期購読者の囲い込み、新規読者の獲得のため、第18期事業年度に引き続き、各マーケティングチャネルの充実、SEO対策やリテンション対策による雑誌購読者の定期購読者化、新規受注高の増加及び継続率の上昇による継続受注高増加のための各種施策を実施して参りました。さらに、WEB経由以外で新規の雑誌定期購読者数を増やすために、出版社が管理する既存の定期購読顧客の管理を当社に移管し、当社グループが購読顧客の獲得、管理、配送までを一括で受ける「Fujisan VCS（Fujisan Value Chain Support）」の展開及び法人顧客開拓についても、引き続き注力して参りました。

この結果、雑誌出版市場が大きく前年比で縮小する中、当社グループは当第3四半期連結累計期間においても総登録ユーザー数（一般購読者及び法人購読者の合計数）は3,465,655名、そのうち課金期間が継続している継続課金ユーザー数（「Fujisan.co.jp」に登録しているユーザーのうち、9月末時点で年間定期購読及び月額払い定期購読の申込みを継続しているユーザー並びに当月内に雑誌を購読したユーザーの合計数）は646,968名となり、当社グループ会員数は雑誌市場の減少にかかわらず、個人の巣ごもり需要を捉え、着実に伸びているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、大口法人ユーザーの解約が増加する等、ユーザー獲得コストは引き続き増加傾向にあります。

また、デジタル雑誌関連の事業（「第2の矢」事業）については、2018年第2四半期連結会計期間より、新たに株式会社電通と合弁で設立した株式会社magaportの事業開始に伴い、従来の「Fujisan.co.jp」上でのデジタル雑誌販売のみならず、他電子書店向けのデジタル雑誌取次分野及び派生するサービス領域事業に注力しております。本事業は主に雑誌読み放題サービスにおいて着実に成長を続けており、当社グループの第2の柱に育ちつつあります。

上記の施策の結果、当第3四半期連結累計期間における取扱高（連結取引消去前における当社から出版社への定期購読の注文取次高、当社の仕入販売高、当社が出版社から配送業務及び広告PR業務等を受けた請負業務の取扱高の合計）は8,399,292千円（前年同期比7.4%増）、売上高は3,794,670千円（同18.6%増）となりました。利益面につきましては、営業利益242,974千円（同32.1%増）、経常利益244,702千円（同29.0%増）、四半期純利益169,849千円（同66.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益166,025千円（同65.0%増）となりました。

注. 当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別の業績の状況については記載していません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は4,778,477千円(前連結会計年度末比411,998千円増)となりました。総資産の内訳は、流動資産が4,281,192千円(同419,168千円増)、固定資産が497,285千円(同7,170千円減)であります。主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が600,122千円増加したこと、未収入金が138,634千円減少したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は3,310,886千円(前連結会計年度末比272,951千円増)となりました。主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ短期借入金が400,000千円増加したこと、未払金が116,667千円減少したこと、預り金が27,218千円増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,467,591千円(前連結会計年度末比139,047千円増)となりました。主な変動要因は、四半期純利益等の計上に伴い利益剰余金が167,001千円増加したこと、自己株式の取得により株主資本が31,222千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症の蔓延による外出自粛に伴う需要増等により、2020年2月12日に公表いたしました2020年12月期の通期の連結業績予想の親会社株主に帰属する当期純利益に対し、96.4%の進捗となっております。しかし、新型コロナウイルス感染症に対する警戒が続く中、EC事業者への需要急増に伴い、物流網、物流倉庫の逼迫、3密を避けるための倉庫オペレーションの効率低下に伴う物流コストの大幅な上昇、緊急事態宣言後における小売事業者の店舗撤退、医療機関を中心とした待合室の削減に伴う雑誌の解約、コスト見直しに伴う雑誌購読契約の見直し等といった動きが出てきており、この影響範囲について、現段階では楽観視できる状況ではありません。また、法人顧客の減少、法人顧客の取引高減少等により、法人関連事業を営む子会社の評価等について、第4四半期の業績動向、翌年度に向けた顧客の状況によっては、影響が発生する可能性があります。

そのため、現時点では、2020年2月12日に公表いたしました2020年12月期の通期の連結業績予想を据え置いております。

新型コロナウイルス感染症による法人の雑誌購読需要、物流関係のコストが安定したのち、連結業績予想の見直しが必要となる場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,176,992	2,777,115
売掛金	226,323	279,517
有価証券	100,000	—
商品	23,994	31,672
仕掛品	30	—
未収入金	1,303,996	1,165,362
その他	43,073	36,978
貸倒引当金	△12,387	△9,453
流動資産合計	3,862,023	4,281,192
固定資産		
有形固定資産	20,162	16,415
無形固定資産		
のれん	48,665	44,794
その他	329,227	319,880
無形固定資産合計	377,892	364,674
投資その他の資産	106,400	116,195
固定資産合計	504,455	497,285
資産合計	4,366,479	4,778,477
負債の部		
流動負債		
買掛金	54,898	98,686
短期借入金	150,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	4,320	—
未払金	1,534,528	1,417,861
未払法人税等	91,105	28,591
預り金	1,135,941	1,163,159
その他	54,901	52,588
流動負債合計	3,025,695	3,310,886
固定負債		
長期借入金	12,240	—
固定負債合計	12,240	—
負債合計	3,037,935	3,310,886

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	265,198	265,198
資本剰余金	250,198	250,198
利益剰余金	1,008,580	1,175,582
自己株式	△230,458	△261,681
株主資本合計	1,293,518	1,429,297
新株予約権	996	996
非支配株主持分	34,029	37,297
純資産合計	1,328,543	1,467,591
負債純資産合計	4,366,479	4,778,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	3,198,216	3,794,670
売上原価	2,025,375	2,456,663
売上総利益	1,172,841	1,338,006
販売費及び一般管理費	988,877	1,095,032
営業利益	183,964	242,974
営業外収益		
受取利息	19	201
補助金収入	5,520	2,000
受取精算金	—	1,588
その他	752	120
営業外収益合計	6,292	3,910
営業外費用		
支払利息	233	1,899
その他	347	282
営業外費用合計	581	2,182
経常利益	189,675	244,702
特別利益		
違約金収入	—	4,300
特別利益合計	—	4,300
特別損失		
関係会社株式売却損	—	1,623
投資有価証券評価損	17,646	—
特別損失合計	17,646	1,623
税金等調整前四半期純利益	172,028	247,378
法人税、住民税及び事業税	70,453	76,855
法人税等調整額	△631	674
法人税等合計	69,821	77,529
四半期純利益	102,207	169,849
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,580	3,823
親会社株主に帰属する四半期純利益	100,626	166,025

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	102,207	169,849
四半期包括利益	102,207	169,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,626	166,025
非支配株主に係る四半期包括利益	1,580	3,823

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは単一セグメントのため、該当事項はありません。